

IV. 研究成果の発信・普及

1. 出版物・報告書の製作

(1) 和文・英文機関紙編集委員会

(1-1) 和文機関誌『アジア経済』

第 61 巻第 2 号から第 62 巻第 1 号までの 4 点を刊行した。

2020 年度編集委員会の委員は、次のとおり。

委員長：安倍誠（新領域研究センター長）

委員（所外）：粕谷祐子（慶應義塾大学教授）、金成垣（東京大学准教授）、澤田ゆかり（東京外国語大学教授）

委員（所内）：岩崎葉子（開発研究センター）、岡奈津子（新領域研究センター）、小林昌之（新領域研究センター兼学術情報センター）、橋口善浩（開発研究センター）、湊一樹（地域研究センター）、山田七絵（新領域研究センター）

(1-2) 英文機関誌 The Developing Economies

Vol.58, No.2 から Vol.59, No.1 までの 4 点を刊行した。

2020 年度編集委員会の委員は、次のとおり。

委員長：黒崎卓（一橋大学教授）

委員（所外）：有本寛（一橋大学准教授）、久保慶一（早稲田大学教授）、塩路悦朗（一橋大学教授）、神事直人（京都大学教授）、町北朋洋（京都大学准教授）、矢野剛（京都大学教授）

委員（所内）：梅崎創（開発研究センター）、工藤友哉（開発研究センター）、桑森啓（開発研究センター兼学術情報センター）、田中清泰（開発研究センター）、塚田和也（開発研究センター）、間寧（地域研究センター）、早川和伸（開発研究センター）、福西隆弘（開発研究センター）、石垣磨美（学術情報センター）

(2) 2020 年度出版物・報告書一覧

① 定期刊行物

刊行年月	刊行物	巻号
------	-----	----

IV. 研究成果の発信・普及

2020年6月	アジア経済	第61巻 第2号
2020年9月	アジア経済	第61巻 第3号
2020年12月	アジア経済	第61巻 第4号
2021年3月	アジア経済	第62巻 第1号
2020年6月	The Developing Economies	Vol.58 No.2
2020年9月	The Developing Economies	Vol.58 No.3
2020年12月	The Developing Economies	Vol.58 No.4
2021年3月	The Developing Economies	Vol.59 No.1
随時	アフリカ・レポート	No.58
2020年7月	ラテンアメリカ・レポート	Vol.37 No.1
2021年1月	ラテンアメリカ・レポート	Vol.37 No.2
2020年6月	アジア動向年報	2020

②単行書 <2020年度より研究所が発行する単行書は全て電子書籍（eBook）へ移行>

タイトル	著者および編者
2019年インドネシアの選挙—深まる社会の分断とジョコウィの再選—	川村晃一編
蔡英文再選—2020年台湾総統選挙と第2期蔡政権の課題—	佐藤幸人・小笠原欣幸・松田康博・川上桃子編
転換期のシンガポール「リー・クアンユー・モデル」から「未来の都市国家」へ—	久未亮一著
「初期」資源環境政策の形成過程—「後発の公共政策」としての始動—	寺尾忠能編
新興国の「新しい労働運動」—南アフリカ、ブラジル、インド、中国—	太田仁志編
サハラ以南アフリカの国家と政治のなかのイスラーム—歴史と現在—	佐藤章編
次世代の食糧供給の担い手—ラテンアメリカの農業経営体—	清水達也編
日韓経済関係の新たな展開	安倍誠編

③IDE Discussion Paper Series

No	タイトル	編著者
780	Political Economy of Labor Provisions in Free Trade Agreements	Hitoshi Sato
781	Product Disposal: A Market Competition Perspective	Hitoshi Sato

IV. 研究成果の発信・普及

784	Too Many Cheers and Not Enough Independence: Media Control through Government Advertisements in an Indian State	Kazuki Minato
785	A Review of China's and Japan's International Engagement in South America: The Cases of Brazil, Chile and Venezuela	Gabriel Garcia
786	Firm Agglomeration and Aggregate Fluctuations	Yoshihiro Hashiguchi and Takayuki Higashikata
787	Behavioral Aspects of Religiosity in Finance: A Brief Survey on Conventional versus Islamic Finance	Huseyin Ozturk
788	Analysis of Scale Operation in Chinese Agricultural Process: Japan's Experience and Enlightenment	Hui Zhang
789	Analysis on Farmer's "Non-grain" planting choice: Based on a survey of major grain-producing areas	Hui Zhang
790	Towards the sustainability of the agricultural landscape The case of the watershed management and implication in the Rift Valley of Ethiopia	Engdawork Assefa
791	Impacts of COVID-19 on International Trade: Evidence from the First Quarter of 2020	Kazunobu Hayakawa, Hiroshi Mukunoki
792	Determinants of Regional Trade Agreement Utilization: Evidence from Multiple Import Countries in Asia	Kuo-I Chang, Kazunobu Hayakawa, Nuttawut Laksanapanyakul, Dionisius Narjoko, Ju Hyun Pyun, Francis Quimba
793	A Gravity Solution to the Puzzling Low Number of COVID-19 Deaths in East Asia	Satoru Kumagai
794	The Impact of an International Bridge on Households: Evidence from Household Panel Data in Thailand	Kazunobu Hayakawa, Souknilanh Keola, Sasatra Sudsawasd, Kenta Yamanouchi
795	Departure Months and Discrepancy in Mirror Trade Data	Kazunobu Hayakawa

IV. 研究成果の発信・普及

796	Tariff Rates in Gravity	Kazunobu Hayakawa, Taiyo Yoshimi
797	Impacts of COVID-19 on Global Value Chains	Kazunobu Hayakawa, Hiroshi Mukunoki
798	Impacts of Lockdown Policies on International Trade	Kazunobu Hayakawa, Hiroshi Mukunoki
799	Rethinking the Role of Suppliers in Global Value Chain Theory	John Humphrey
800	Does Lockdown Policy Reduce Human Activity?	Kazunobu Hayakawa, Souknilanh Keola
801	Assessing the Impact of China Shocks on the Trade Creation Effect in ASEAN	Kazunobu Hayakawa
802	Smile Curves in Global Value Chains: Multinationals vs Domestic Firms; the U.S. vs China	Bo Meng and Ming Ye
803	Heterogeneous Impacts of COVID-19 on Trade: Evidence from China's Province-level Data	Dapeng Cai and Kazunobu Hayakawa
804	Trade Creation Effect of Regional Trade Agreements in the Presence of Duty Drawbacks	Kazunobu Hayakawa, Nuttawut Laksanapanyakul, and Hiroshi Mukunoki
805	The Turning Point of Domestic Value Creation in Exports Based on the Knowledge-Capital Model	Kazuhiko Oyamada and Hiroyuki Taguchi
806	Rules of Origin and Exports in developing Economies	Kiyoyasu Tanaka and Takahiro Fukunishi
807	Formal Registration and Informal Firms in Cambodia	Kiyoyasu Tanaka
808	Can E-commerce Mitigate the Negative Impact of COVID-19 on International Trade?	Kazunobu Hayakawa, Hiroshi Mukunoki, Shujiro Urata
809	Does the Import Diversity of Inputs Mitigate the Negative Impact of COVID-19 on Global Value Chains?	Mitsuyo Ando and Kazunobu Hayakawa
810	Who Sends Me Face Masks? Evidence for the Impacts of COVID-19 on International Trade in Medical Goods	Kazunobu Hayakawa and Kohei Imai
811	Egypt's Subverted Transition: State Institutions against the Muslim Brotherhood	Housam Darwisheh

IV. 研究成果の発信・普及

812	Impacts of International Transport Infrastructure: Evidence from Laos Households	Magnus Andersson, Kazunobu Hayakawa, Souknilanh Keola, and Kenta Yamanouchi
813	Re-instating the European Union's Generalized System of Preferences for Myanmar	Kiyoyasu Tanaka and Toshihiro Kudo
814	Does the coexistence of online and offline firms improve welfare?	Xiwei Zhu and Toshitaka Gokan
815	Industrialization of Developing Economies in the Global Economy with an Infectious Disease	Hitoshi Sato
816	Modeling and Simulation on the COVID-19 Infection: Preliminary Result	Tsubasa Shibata and Hiroyuki Kosaka
817	Development and Anti-Corruption in the Era of Reforms in the GCC States	Hirotake Ishiguro
818	Sudan and Egypt's Hydro-Politics in the Nile River Basin	Housam Darwisheh

④外部出版

刊行年月	種別	タイトル	著者および編者	備考
2020年10月	和文外部出版	<米中新冷戦>と中国外交－北東アジアのパワーポリティクス－	松本はる香編著	白水社
2021年1月	和文外部出版	ベネズエラ－溶解する民主主義、破綻する経済－	坂口安紀著	中央公論新社
2021年3月	和文外部出版	アジアの障害者の法的能力と成年後見制度－障害者権利条約から問い直す－	小林昌之編	生活書院
2021年3月	和文外部出版	これからのインド－変貌する現代世界とモディ政権	堀本武功、村山真弓、三輪博樹編	東京大学出版会
2021年2月	英文外部出版	<i>Origins and Evolution of Environmental Policies: State, Time and Regional Experiences</i>	Tadayoshi Terao and Tsuruyo Funatsu, ed.	Edward Elgar
2021年2月	英文外部出版	<i>The Diffusion of Public</i>	Etsuyo Michida,	Edward

		<i>and Private Sustainability Regulations: The Responses of Follower Countries</i>	John Humphrey, and David Vogel, ed.	Elgar
--	--	--	-------------------------------------	-------

2. 国際シンポジウム

(1) 中国社会科学院（CASS）共催国際学術シンポジウム「ポストコロナ時代の日中経済協力」

- ①日 時：2020年10月27日（火）14：00～18：00
- ②場 所：オンライン
- ③主 催：アジア経済研究所、中国社会科学院
- ④参加者：〔日本〕会場（ジェトロ本部BCD会議室）約20名/視聴約60名
〔中国〕会場（北京国際飯店）約80名/視聴約10名
- ⑤全体アジェンダ（敬称略）

1) オープニング・スピーチング・スピーチ14：00～14：20

- （来賓）戴秉国【元中国国務院国務委員】
- （来賓）福田康夫【元内閣総理大臣】
- （主催者）謝伏瞻【中国社会科学院院長】
- （主催者）深尾京司【アジア経済研究所所長】

2) 基調講演14：20～15：20

- 楊伯江【中国社会科学院日本研究所所長】
- 宮本雄二【元駐中国特命全権大使】
- 張宇燕【中国社会科学院世界政治・経済研究所所長】
- 丸川知雄【東京大学社会科学研究所教授】

3-1) セッション1：「コロナ後の世界経済と変容するグローバル・バリュー・チェーン（GVC）」15：30～16：10

- モデレーター：深尾京司【アジア経済研究所所長】
- パネリスト：江瑞平【中国外交学院副院長】
- 姜躍春【中国国際問題研究院世界経済発展研究所所長】
- 早川和伸【アジア経済研究所経済地理研究グループ主任研究員】

孟渤【アジア経済研究所新領域研究センター主任調査研究員】

3-2) セッション2：「日中イノベーション協力の可能性」16：20～17：00

モデレーター：唐永亮【中国社会科学院日本研究所日本学刊編集部主任】

パネリスト：趙鋼【中国科学技術部中国科学技術発展戦略研究院研究員】

張季風【中国社会科学院日本研究所前副所長】

伊藤亜聖【東京大学社会科学研究所准教授】

丁可【アジア経済研究所企業・産業研究グループ研究員】

3-3) セッション3：「社会開発分野における日中協力」17：00～17：40

モデレーター：佐藤寛【アジア経済研究所上席主任調査研究員】

パネリスト：李国慶【中央民族大学民族学・社会学学院教授】

馮文猛【國務院発展研究中心社会発展研究部研究員】

浜本篤史【早稲田大学社会科学総合学術院教授】

大塚健司【アジア経済研究所環境・資源研究グループ長】

3-4) セッション講評17：40～17：50

呉懷中【中国社会科学院日本研究所副所長】

田中修【アジア経済研究所上席主任調査研究員】

4) 閉会挨拶17：50～18：00

楊伯江【中国社会科学院日本研究所所長】

北川浩伸【日本貿易振興機構（ジェトロ）理事】

(2) 中東における女性の社会参画と新たなビジネス交流の可能性

①日時：セッション1：2021年3月3日（水）15：00～17：00

セッション2：2021年3月4日（木）15：00～17：00

②場所：オンライン

③主催：ジェトロ・アジア経済研究所

④参加者：（3日：セッション1）272名、（4日：セッション2）184名

⑤プログラム（敬称略）

1) セッション1：「中東諸国における女性の社会参画の現状と課題について」

開会挨拶：深尾京司（日本貿易振興機構アジア経済研究所所長）

モデレーター：村山真弓（日本貿易振興機構アジア経済研究所理事）

パネリスト：リーナ・アンナーブ

IV. 研究成果の発信・普及

(駐日ヨルダン・ハシェミット王国特命全権大使)

サルマ・アル・ラシード

(The Women 20 Sherpa, Chief Advocacy Officer, Al Nahda Society for Women、サウジアラビア)

辻上奈美江 (上智大学総合グローバル学部教授)

佐藤寛 (アジア経済研究所 研究推進部 上席主任調査研究員)

2) セッション2:「中東諸国における女性視点からのビジネス交流と可能性」

開会挨拶: 林伴子 (内閣府 男女共同参画局長)

モデレーター: 曾根一朗 (日本貿易振興機構理事)

パネリスト: アル・アヌード・アル・シェイク

(リヤド商工会議所女性部会メンバー、Rafeef Najd Trading Co. 創業者 兼 Executive Director、サウジアラビア)

郡司みさお (片倉もところ記念沙漠文化財団 理事)

西浦克 (日本貿易振興機構企画部 海外地域戦略主幹 中東担当)

3. 講演会・セミナー等の活動

(1) 連続専門講座

講座名	開催日	場所	講師	参加者数
SDGs時代の『経済・社会開発連続専門講座』	2020/10/24 (土)	オンライン	佐藤寛 (研究推進部 上席主任調査研究員)、大塚健司 (新領域研究センター環境・資源研究グループ長)、道田悦代 (新領域研究センター環境・資源研究グループ長代理)、忍足謙朗 (元 WFP/難民を助ける会常任理事)、戸堂康之 (早稲田大学教授)、山形辰史 (立命館 APU 教授)、石戸光 (千葉大学教授)、黒田一雄 (早稲	36
	2020/11/7 (土)			
	2020/11/28 (土)			
	2020/12/19 (土)			
	2021/1/16 (土)			
	2021/1/30 (土)			
	2021/2/13 (土)			
	2021/2/27 (土)			

IV. 研究成果の発信・普及

			田大学教授)、井上直美(東京外国語大学博士課程/ILO コンサルタント)、清水栄一(国立国際医療研究センター)、山田雪乃(大和証券シニアストラテジスト)、小島道一(東アジア・アセアン経済研究センターシニア・エコノミスト)	
台湾連続講座「米中対立のなかの台湾」第1回 「TSMC－誕生から米中対立の焦点となるまで－」	2020/11/12(木) 14:00～15:00	オンライン	佐藤幸人(研究推進部長)、川上桃子(地域研究センター長)	341
台湾連続講座「米中対立のなかの台湾」第2回 「『米中冷戦』と米台関係のパラダイムシフト」	2020/11/17(火) 14:00～15:00	オンライン	竹内孝之(地域研究センター東アジア研究グループ)	322
台湾連続講座「米中対立のなかの台湾」第3回 「新型コロナウイルス感染症と米中台関係」	2020/11/19(木) 14:00～15:00	オンライン	鄭方婷(海外派遣員(台北))	273

(2) オンライン講座

講座名	開催日	場所	講師	参加者数
第2期蔡英文政権、コロナ禍のなかのスタート－就任演説を読み解く－	2020/6/18(木) 14:00～15:15	オンライン	佐藤幸人(研究推進部長)、松本はる香(地域研究センター東アジア研究グループ長代理)、竹内孝之(地域研究センター東アジア研究グルー	263

IV. 研究成果の発信・普及

			ブ)、川上桃子 (地域研究センター長)	
コロナ禍からの中国経済の立ち上がりを見る	2020/6/25 (木) 14:00~15:00	オンライン	箱崎大 (新領域研究センター主任調査研究員)	311
フェルナンデス『連立政権』の誕生したアルゼンチン	2020/7/7 (火) 10:00~11:00	オンライン	菊池啓一 (海外研究員 (ブエノスアイレス))、清水達也 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長)	203
SDGs時代の『経済・社会開発連続専門講座』フォローアップ講座	2020/7/25 (土) 14:00~17:15	オンライン	佐藤寛 (研究推進部 上席主任調査研究員)、坂田正三 (バンコク事務所)	21
都市貧困層による社会運動と政治参加ーサンパウロの住宅運動とブラジルの構造変化ー	2020/7/30 (木) 10:00~11:00	オンライン	近田亮平 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ)	179
揺れる中南米諸国のゆくえを見極める:『ラテンアメリカ・レポート』Vol.37, No. 1の発行にあわせて	2020/8/7 (金) 10:00~11:00	オンライン	清水達也 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長)、近田亮平 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ)、宮地隆廣 (東京大学大学院総合文化研究科准教授)、笛田千容 (駒澤大学総合教育研究部外国語第二部門講師)、中沢知史 (南山大学外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科講師)	168
ブラジルの最新動向	2020/9/17 (木)	オンライン	近田亮平 (地域研究	341

IV. 研究成果の発信・普及

	10:00～11:00		センターラテンアメリカ研究グループ)	
(オンライン対談) 新型コロナ禍とアフリカ: ポスト・パンデミックについて展望する	2020/10/7 (水) 16:00～17:00	オンライン	平野克己 (新領域研究センター上席主任調査研究員)、白戸圭一 (立命館大学国際関係学部教授)	317
対立をどう乗り越えるのかー2020年タイ政治混乱の背景と展望	2020/11/25 (水) 14:00～15:00	オンライン	青木まき (地域研究センター東南アジア I 研究グループ長代理)	322
イノベーション視点から考える SDGs とアジア	2020/12/1 (火) 14:00～15:10	オンライン	山田美和 (新領域研究センター法・制度研究グループ長)	529
(オンライン対談) 『アフリカ経済の真実』著者に聞く	2020/12/8 (火) 16:00～17:00	オンライン	平野克己 (新領域研究センター上席主任調査研究員)、吉田敦 (千葉商科大学人文社会学部准教授)	358
<米中新冷戦>と中国外交	2020/12/10 (木) 14:00～16:00	オンライン	松本はる香 (地域研究センター東アジア研究グループ長)、竹内孝之 (地域研究センター東アジア研究グループ)、佐々木智弘 (防衛大学校准教授)、堀田幸裕 (霞山会主任研究員)、伊豆見元 (東京国際大学教授)	545
キューバの貿易投資動向～JICA 現地専門家による報告	2020/12/21 (月) 13:30～15:30	オンライン	山岡加奈子 (新領域研究センターグローバル研究グループ長代理・主任研究員)、清水文裕 (国際協力機構)	234

IV. 研究成果の発信・普及

ベネズエラ - 溶解する民主主義、破綻する経済	2021/1/22 (金) 10:00~11:30	オンライン	坂口安紀 (地域研究センター主任調査研究員)	221
岐路に立つエチオピア：2020年11月の内戦の背景	2021/1/26 (火) 15:00~16:00	オンライン	児玉由佳 (新領域研究センター主任研究員)、関隆夫 (アディスアベバ事務所事務所長)	255
新型コロナウイルス感染拡大と韓国経済	2021/1/28 (木) 14:30~16:00	オンライン	安倍誠 (新領域研究センター長)、渡邊雄一 (地域研究センター東アジア研究グループ)	190
『ラテンアメリカ・レポート』Vol.37, No.2の発行にあわせて	2021/2/4 (木) 10:00~11:00	オンライン	清水達也 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長)、上谷直克 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ)、北野浩一 (新領域研究センター主任調査研究員)、豊田紳 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ)、舩方周一郎 (東京外国語大学世界言語社会教育センター講師)	296
グローバル・サプライチェーンにおける責任ある労働慣行の実践と持続可能性向上～タイにおける日本の自動車部品企業の事例～	2021/2/4 (木) 13:00~15:30	オンライン	山田美和 (新領域研究センター法・制度研究グループ長)	436
新疆ウイグル自治区、中央アジアの民族問題を	2021/2/17 (水) 14:00~15:00	オンライン	熊倉潤 (新領域研究センターグローバル)	412

IV. 研究成果の発信・普及

考えるー民族自決と民族団結			研究グループ)	
新型コロナ禍の下の途上国の障害者の状況を考える	2021/2/18 (木) 14:00~15:00	オンライン	小林昌之 (新領域研究センター主任調査研究員)、森壮也 (新領域研究センター主任調査研究員)、山下恵理 (学術情報センター図書館情報課)、久野研二 (JICA 国際協力専門員)	220
東南アジアにおける海洋プラスチック問題への取り組みと国際協力	2021/3/12 (金) 15:00~17:00	オンライン	小島道一 (新領域研究センター上席主任調査研究員)、中島慶次氏 (環境省水・大気環境局水環境課海洋プラスチック汚染対策室室長)、内貴研二氏 (サントリーホールディング株式会社コーポレートサステイナビリティ推進本部専任部長/クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA) 国際連携部会)、水野綾子氏 (東アジア・アセアン経済研究センター)	530
バイデン時代の中東域内関係:メインアクターとしてのトルコを中心に	2021/3/15 (月) 16:00~18:00	オンライン	鈴木均 (地域研究センター中東研究グループ上席主任研究員)、今井宏平 (地域研究センター中東研究グループ)、Dr.	220

IV. 研究成果の発信・普及

			Brandon Friedman、 Mr. Gabriel Mitchell (The Israeli Institute for Regional Foreign Policies)、清 水学(ユーラシア・コ ンサルタント)、池内 恵(東京大学先端科 学技術研究センタ ー)	
『米中摩擦』『ポストコ ロナ』下の台湾	2021/3/17(水) 14:00~15:40	オンライン	川上桃子(地域研究 センター長)、鄭方婷 (海外派遣員(台 北))	56
クーデター後のミャン マー:混乱からの出口は あるのか?	2021/3/18(木) 14:00~15:30	オンライン	長田紀之(地域研究 センター動向分析研 究グループ)、工藤年 博(政策研究大学院 大学教授)、中西嘉宏 (京都大学東南アジ ア地域研究研究所准 教授)	824

(3) 発展途上国研究奨励賞受賞記念講演会

講座名	開催日	場所	講師	参加 者数
『現代中国における「イ スラーム復興」の民族 誌:変貌するジャマア の伝統秩序と民族自治』 (明石書店) 『幸運を探すフィリピ ンの移民たち:冒険・犧 牲・祝福の民族誌』(明石 書店)	2020/7/1(水) 17:00~18:15	オンライン	澤井充生(東京都立 大学人文社会学部助 教)、細田尚美(長崎 大学多文化社会学部 准教授)	—

IV. 研究成果の発信・普及

(4) テレビ・ラジオ出演

出演メディア	出演日	タイトル	解説者
J-WAVE ラジオ	2020年5月26日	jAM THE World	佐藤寛
NHBS1	2020年6月16日	キャッチ!「カンボジアへ帰国した出稼ぎ労働者」	初鹿野直美
NHK テレビ (Eテレ)	2020年8月8日	「ろうを生きる難聴を生きる」	森壮也
テレビ朝日 大下容子ワイド!スクランブル	2020年10月5日	「<NEWSドリル>スリランカで何が…背景に中国?日本支援の鉄道事業が“白紙”に」	荒井悦代
NHK 日曜討論	2020年11月15日	バイデン氏に政権移行へ アメリカは? 国際社会は?	江藤名保子
NHK ニュース7	2020年11月28日	エチオピアで人道危機・民族対立から内戦の危機・ノーベル平和賞の理想は…	児玉由佳
NHK 国際報道 2020	2020年11月30日	ミャンマー スー・チー政権 2期目の課題	長田紀之
NHK 視点・論点	2021年1月13日	パーム油から考えるSDGs	道田悦代
ニッポン放送 辛坊治郎ズーム そこまで言うか!	2021年2月2日	ミャンマーで軍事クーデター その背景と今後の政治体制は	長田紀之
TBS サンデーモーニング	2021年2月7日	ミャンマー軍事クーデターなぜ起きた? 岐路に立つ民主化への道のり	長田紀之
BS日テレ 深層NEWS	2021年2月26日	レアアース輸出規制? 生産増? 中国の思惑は 希少資源巡る米中対立	江藤名保子
BS日テレ 深層NEWS	2021年3月12日	全人代で見た習主席の野望	江藤名保子
NHKBS1 国際報道 2021	2021年3月25日	台湾 水不足で半導体製造に影響	川上桃子

4. 第41回発展途上国研究奨励賞

IV. 研究成果の発信・普及

「発展途上国研究奨励賞」は、途上国に関する社会科学及びその周辺分野の調査研究水準の向上と研究奨励に資することを目的として、1980年度にアジア経済研究所が創設したものである。

2020度は、①2018年10月から2019年9月までに国内で公刊された日本語または英語による図書、雑誌論文、または②2019年に海外で公刊された英文図書のうち、執筆時、公刊時もしくは賞応募時点において日本国内に所在する大学・研究機関等に在職している研究者（国籍は問わない）によるものを対象として、他薦、自薦の応募があった37点から研究推進部での審査、所内研究者の査読、外部有識者を含む選考委員から構成される審査委員会における最終審査を経て、以下の2点を受賞作品として選定した。7月1日にアジア経済研究所において表彰式と著者による記念講演会を実施した。

【委員長】 田中明彦（政策研究大学院大学学長）

【委員】 上田元（一橋大学大学院社会学研究科教授）、栗田禎子（千葉大学経済学部教授）、藤田幸一（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授）、大塚啓二郎（ジェトロ・アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員）、深尾京司（ジェトロ・アジア経済研究所所長）

受賞作品（2作品）：

1. 『現代中国における「イスラーム復興」の民族誌－変貌するジャマアの伝統秩序と民族自治－』（明石書店）
澤井 充生 東京都立大学人文社会学部助教
2. 『幸運を探すフィリピンの移民たち：冒険・犠牲・祝福の民族誌』（明石書店）
細田 尚美 長崎大学多文化社会学部准教授

受賞作以外で最終選考の対象となった作品は以下の1点。

- 『知的所有権の人類学：現代インドの生物資源をめぐる科学と在来知』（世界思想社）
中空 萌 広島大学大学院人間社会科学研究科講師

5. 賛助会制度

賛助会制度は、アジア経済研究所の事業活動に賛同をいただいた会員より賛助会費の資金援助を得て、研究成果を広く普及するために設けられた制度である。

賛助会は、企業、団体、大学、研究機関等のための正会員（年会費140,000円）と研究所事業に関心のある個人を対象とする個人利用会員（年会費10,000円）からなる。2020年度末の会員口数は、正会員151、個人利用会員98である。正会員には、オンライン閲覧

IV. 研究成果の発信・普及

による最新データベースの提供、アジア経済研究所の各種出版物の送付等を行い、個人利用会員にはアジア経済研究所の出版物の送付（一部）を行っている。

また、アジア経済研究所が主催する有料講演会については、2018年度から正会員及び個人利用会員を無料とし、賛助会サービスの向上を図っている。

6. アジア経済研究所ウェブサイト

2020年度の研究成果のアクセス数・ダウンロード数は約680万件であった。2020年度は、利用者がイベント・セミナー情報にアクセスしやすくするため、トップページの修正を行った。また、ウェブサイト掲載の研究成果の差替え/取下げに係るルールの検討と決定、ウェブサイトを通じたコンテンツ発信にあたっての業務所掌・フローの見直し等、研究所ウェブサイトでの発信が増加するなかで改めてフローやルールの見直しを行い、スムーズに業務が進捗するよう改善を行った。